

中央学術研究所
原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究
A Study of the Biography of Sakya-muni Based on the Early Buddhist Scriptural Sources

トップページ

サーンチ第1塔の東園から

総目次論文資料集現地調査報告など

はじめて来られた方へご利用ガイド著者プロフィールリンク集

詳細な検索

ENGLISH日本語

「中央学術研究所紀要」モノグラフ篇 No.2
【資料集2-1】原始仏教聖典の仏在処・説処一覧 ―マガダ国篇 金子芳夫

目次

〔Ⅰ〕Magadha国：摩竭提国／摩竭陀国／摩竭国／摩揭陀

〔Ⅱ〕Rājagahaとその周辺地域

〔1〕城

〔2〕聚落

〔3〕精舎・園林

〔4〕山・窟

(1) Rājagaha：Rājagṛha／王舎城／王舎国／王舎／羅閱城／羅閱祇Rājagahanidānaを含む

(2) Rājagaha城内

Bhaggavaの家、Aggika-Bhāradvājaの家、Dīghāvuの宅、長寿童子の舎、通り、法講堂、婆羅豆婆遮（Bhāradvāja）婆羅門の舎、城門、阿耆達多（Aggidatta）婆羅門の舎、火姓達頼（Aggika-Bhāradvāja）婆羅門の家、一街巷、尸利掘（Sirigutta）長者の家、翅毒（Keṇiya）梵志の家などを含む

(1) Kimbilā：Kimilā

金婆羅山金婆羅鬼神住処石室を含む

(2) KimbilāのVeḷuvana：KimilāのVeḷuvana／金毘羅聚落金毘林

(3) KimilāのGaṅgā

(4) Ambasaṇḍa brāhmaṇagāmaの北側Vediyaka pabbataのIndasālaguha：菴婆羅村の北の毘陀山因陀婆羅窟／棕林村の北の鞞陀提山因陀羅石室

(1) Veḷuvana-Kalandakanivāpa：RājagahaのVeḷuvana／RājagahaのKalandakanivāpa／竹林精舎／竹林園／竹林／竹園／饒蝦蟆林／迦蘭陀竹園／迦蘭陀竹林／羯蘭鐸迦池竹林園／竹林迦蘭哆園／竹林加蘭哆園／竹林加蘭多園／竹林伽蘭哆園／竹林園羯蘭鐸迦池

(2) Sītavana：尸陀林／寒林

SītavanaのSappasoṇḍikapabbhāra、寒林中丘塚を含む

(3) Jīvākambavana：Jīvaka Komārabhaccaのambavana／耆婆拘摩羅葉師菴羅園／耆域童子菴婆羅園／耆舊童子菴婆園／耆婆伽梨園／菴婆羅園

(4) LaṭṭhivanaのSuppatittha-Cetiya：杖林善建立支提／善住天寺祠祀林

杖林、杖林善住尼拘律樹王下、摩竭陀邑善住尼拘類樹王下を含む

(5) 山谷精舎：爽谷精舎

(6) Moranivāpa paribbājakārāma：孔雀林異学園

(7) Tapodārāma：温泉林

(8) Maddakucchi-migadāya：曼直林

(9) Udumbarikā-paribbajakārāma：優曇婆邏林／烏暫婆梨梵志女林

(10) Rājagaha城外

王舎城城外の園を含む

(11) Kassapakārāma

(12) 金師住処

(1) Gijjhakūṭa pabbata：Gṛdhrakūṭa parvata／靈鷲山／耆闍崛山／鷲峰山／鷲峯山／鷲巖山／鷲山

(2) Gijjhakūṭa pabbataのupaṭṭhānasālā：Gṛdhrakūṭa parvataのupaṭṭhānasālā／靈鷲山講堂

(3) Gijjhakūṭa pabbataのSūkarakhata

(4) Dakkhināgiri：南山国土／南山山頂／南方

(5) DakkhināgiriのEkanālā brāhmaṇagāma

王舎城の北の耕田婆羅豆婆遮を含む

(6) Isigiri pabbata：仙人山

(7) Isigiripassa-Kālasilā：仙人山側黒石室／金師精舎

(8) 毘婆羅山七葉樹林石室：毘婆波世山七葉窟／毘婆山側七葉窟／毘訶羅山七葉樹窟

(9) 毘富羅山

(10) Paṇḍava pabbata：班荼婆山／白山／波羅棕山

(11) Paṭibhānakūṭa：深嶮巖

(12) 耆尼山

(13) 那伽山

(14) 多衆踐踏曠野

http://www.sakya-muni.jp/monograph/02/2-1/[2016/07/02 23:55:18]

- (15) Indakūṭa pabbataのIndaka yakkhaの住处
- (16) Pippaliguḥā
- (17) 方黒石聖山
- (18) 住龍山
- [5] 河・池
 - (1) 須摩竭陀池
 - (2) Sappinī 河畔
 - (3) Sappinī 河畔の Paribbājakārāma
- [6] 聖処
 - (1) Pāsāṇaka-cetiya
- [III] Gayā：伽耶
 - [1] 山・聖処
 - (1) Gayāsīsa：伽耶山／象頭山
 - (2) 迦闍尸利沙支提：伽耶頂制底
 - (3) TaṇḍitaṃḥaのSūciloma yakkhaの住处：針毛夜叉住处／箭毛夜叉宮
 - [2] 河
 - (1) Gayā河
- [IV] UruvelāとNerañjarā河
 - [1] 郡
 - (1) Uruvelā：鬱鞞羅婆界／鬱鞞羅村／鬱毘羅／優留毘／優為界
Uruvela-kassapaの庵、鬱鞞羅迦葉石室、鬱鞞羅池などを含む
 - [2] 聚落
 - (1) 斯那聚落：大将村／軍營聚落／軍住
 - [3] 園林
 - (1) 劫波園：沙羅林／白氈林
 - [4] 聖処（樹下）
 - (1) Nerañjarā河のAjapāla-nigrodha樹下：阿耶^惹羅尼尼拘類樹下／阿踰波羅尼拘律樹下／阿豫波羅尼拘類樹下
 - (2) Nerañjarā河のBodhirukkha樹下：菩提樹下／道場樹下／大菩提所
 - (3) Nerañjarā河のMucalinda樹下：文驪龍王樹下／文鱗龍王所坐の一樹下
 - (4) Nerañjarā河のRājāyatana樹下
樹下を含む
 - (5) 離婆那樹下
 - [5] 河
 - (1) Nerañjarā河
- [V] Nālandā：那爛陀／那離陀城／那難大／那難陀／那難陀城／那難陀園／那羅聚落／那羅健陀城／那羅健陀／那羅健陀／那羅乾陀城
 - [1] 園林
 - (1) Pāvārikambavana：波波利菴婆林／波婆利掩次林／波婆利菴次林／波和利園／波婆離棕林／墻村棕林／好衣菴羅園／賣衣者菴
羅園／賣豐園林／賣豐林
 - [2] 聚落
 - (1) 置置聚落菴婆羅林
- [VI] Pāṭaligāma：波咤利弗多羅國／波羅利弗妬路國／巴陵弗城／巴連弗邑／巴連弗／巴隣聚
 - [1] 聚落
 - (1) Pāṭaligāma：Pāṭaliputta／Pāṭaligrāmaka
 - (2) 阿衛聚の一樹下
 - [2] 聖処
 - (1) Pāṭalaka-caitya：巴連弗城外の神樹下／巴連弗樹下／巴陵樹下
 - [3] 精舍・園林
 - (1) Kukkuṭārāma：鷄林精舍／鷄林園
Pāṭaliputtanidānaを含む
 - [4] 住居
 - (1) Sunidha と Vassakāra の住居：Varṣākāra の住居／禹舍の蔽舍／禹舍の舍
 - (2) Āvasathāgāra（休息堂）：Āvasatha（休息堂）／大堂舍／講堂
 - [5] 河
 - (1) Gotama-tittha：Gautama-tīrtha／瞿曇津／瞿曇河／仏溪
 - (2) 恒水辺
- [VII] その他
 - [1] 聚落
 - (1) Nālakagāma：那羅聚落
 - (2) Andhakavindha：阿那頻頭／阿那伽頻頭／阿那伽賓頭
 - (3) 阿那頻頭勝葉婆林
 - (4) Pañcasālā brāhmaṇa-gāma：娑羅婆羅門聚落／娑羅樹林婆羅門聚落
 - (5) 五婆羅村北の尸提^惹林：申恕林
 - (6) Mātulā／摩羅醯搜？
摩兜麗刹利棕林駛河岸を含む
 - (7) 竹林聚落福德舍
 - (8) CālikāのCālikā pabbata
 - (9) Khānumata brāhmaṇagāmaのAmbalaṭṭhikā
 - (10) 羅到聚

- (11) 閼閼村莽棕林窟
- (12) 憂迦支江水側
- (13) 神祇江水側
- [2] 精舎・園林・窟
 - (1) Ambalaṭṭhikā
 - (2) Ambalaṭṭhikā のRājāgārika
 - (3) Veṇuṣaṭṭhikā のRājāgārika
 - (4) 王園
- [3] 聖処
 - (1) Mañimālaka-cetiya：摩尼遮羅夜叉住処／摩尼遮鬼住処／崛默夜叉宮／摩尼行夜叉宮
 - (2) 富那婆藪鬼子母住処：富那婆修夜叉母宮
 - (3) 鬼子母宮
- [4] 山・林
 - (1) 波沙山
 - (2) 桃河樹林
- [5] 河・池
 - (1) 江水側
 - (2) 光明池

キーワード：仏在処 説処 マガダ 竹林園 靈鷲山 ガヤー ウルヴェーラー ナーランダー パータリ村

本資料集の概要

本資料集のいう「仏在処」は経典の冒頭にある「如是我聞一時仏在○○○与大比丘衆」という形式の「○○○」の部分で、「説処」は釈尊の移動先での活動や、「如是我聞一時仏在○○○」という形式をとっていない律蔵が説かれた場所を表したもので、本資料集はパーリの5ニカーヤとヴィナヤ、および漢訳の別訳阿含經を含む五阿含經と『四分律』『五分律』『十誦律』『僧祇律』『根本有部律』の5広律を対象として、釈尊や仏弟子たちが「どこで」「誰に対して」「どのようなこと」をしたかということを、その場所別に表にまとめたものである。この【資料集2-1】はそのうちの「マガダ国篇」である。

なお表には、「部類/経番号/経名/巻/頁：資料名」「經由地」「登場人物」「記事」「相応經」という5つの欄が作ってあるが、これらは次のような事項を記した。

「部類/経番号/経名/巻/頁」には資料名とその所在を記した。「部類」はパーリ・漢訳の經蔵、律蔵の編集上の部類であり、「経番号」はパーリについてはPTS版テキスト（旧版）に付されている番号、漢訳は大正新脩大藏經に付されている番号であり、「巻/頁」はパーリについてはPTS版（旧版）、漢訳は大正新脩大藏經の巻・頁である。なお聖典名の前に※印を付したものは、当該聖典に釈尊が登場されないものを示した。したがってこの場合の「仏在処」「説処」は仏弟子の「在処」「説処」を示すことになる。

「經由地」には、1つの聖典の中で釈尊が移動された場合の移動経路を記した。

「登場人物」には、当該聖典の中にリアルタイムで登場する人物名を記した。

「記事」には、・釈尊が説かれた教えや仏弟子の説法の梗概、・釈尊を中心に仏弟子たちの動向（誰々のもとを訪れた、病気になった、出家した、阿羅漢果を得た、命終・涅槃したなど）、ならびに律の制定といった歴史的な出来事の概要を記した。

「相応經」には、(1) パーリ聖典と漢訳聖典が「内容」を同じくするけれども「仏在処」や「説処」を異にする「相応經」の聖典名（部類/経番号/経名/巻/頁）と当該聖典の記す地名を記入した。ただし(2) 対応関係・相応関係は、パーリ聖典と漢訳聖典相互の関係に限定した。

そしてこのマガダ国篇では、マガダ (Magadha)、その首都・王舎城 (Rājagaha, Rājagṛha) を中心とする地域、王舎城の北方に位置するナーランダー (Nālandā) とパータリガーマ (Pāṭaligāma: Pāṭaliputta/Pāṭaligrāmaka)、そして南西方向に位置するガヤー (Gaya) とウルヴェーラー (Uruvelā)、さらにマガダのどこに位置するか不明な地域とに分類し、そのなかをさらに城、聚落、精舎・園林、山・窟、河・池、聖処などに細分して示した。詳細は目次を参照されたい。